

## 令和5年度水質事故対応訓練を実施しました

群馬用水は、県央地域 8 市町村の水道用水及び 7 市町村の農地を潤す農業用水として、利根川から取水した水を地域へ送水するための重要な水路施設です。

群馬用水では、平成 20 年に水路内へ油を不法投棄される事態が発生し、水資源機構 群馬用水管理所は事態の収束に全力で取り組みました。

これを契機に水資源機構では、群馬用水の水を利用している浄水場、土地改良区等の関係機関と連携し、油流出を想定した水質事故対応訓練を毎年行っています。

今年度は、10月4日（水）の小雨が降る中、NPO 法人自然エネルギー・環境協会の講師をお招きし、群馬用水管理所職員 12 名、関係利水者 11 名の参加者が水質事故対応訓練を実施しました。

訓練では、座学として講師から油と中和剤と呼ばれる薬剤の特性や油が流出した際の対処方法など「油流出事故対策等」の講義を受け、その後、オイルフェンスの連結方法、ロープワークの指導を受けました。

実地訓練では、指導を受けたロープワークの練習や、群馬用水赤榛分水工に実際にオイルフェンスを設置する訓練を機構職員と関係利水者と協働して実施しました。

油流出時の基礎知識やロープワーク、オイルフェンス設置といった訓練は、継続していくことが肝要であると考えておりますので、今後も職員の防災知識の向上、技能の習熟に努めてまいります。

※ 群馬用水管理所では、幹線水路の各所にオイルフェンス等吸着資材の配備を行っています。

油の流出事故があった場合には、被害の拡大防止のために迅速な対応が重要となります。水路等で油が浮いているのを見かけた際は、群馬用水管理所までご一報お願いいたします。

独立行政法人水資源機構 群馬用水管理所 TEL：027-251-4266

[訓練状況：群馬用水子持操作所敷地内及び赤榛分土工にて]

①講義

NPO 法人自然エネルギー・環境協会より油の特性等による実演を交えた講義を受けました。写真はオイルマットの実演です。



②講義

油に中和剤を入れると、油の粒子が細くなり水中に分散して吸着回収ができなくなります。このため、水路では中和剤を使うことはできません。



③ロープワークの練習

オイルフェンスの設置に使う「もやい結び」と「巻き結び」を練習しました。



④オイルフェンスの連結

1本2mの吸着型のオイルフェンスは、水路幅に合わせて連結して使用します。



⑤設置訓練

オイルフェンスは、水路に対して斜めに隙間なく張るように練習しました。斜めに張ることで油の回収が容易になります。



⑥設置訓練

3重にオイルフェンスを設置しました。実際の水質事故でも2重、3重に設置すると効果が高まります。今回は土のうにより端部を固定しています。

